

港湾整備事業

道北地域における地域産業の発展と、地域の生活基盤を支える整備を、留萌管内4港湾において進めます。

重要港湾である留萌港では、物流の効率化を図るため、時化時の港内静穏度向上を目指した防波堤等の整備を行います。

地方港湾では、地域の主要産業を支えるため、増毛港、羽幌港において荷役の効率化や安全性向上を目指した整備を、天塩港においては船舶航行の安全性向上を目指した整備を行います。



留萌港古丹浜地区 原木荷役状況

港湾整備事業の概要

事業区分	港湾名		地区名	事業の概要
港湾改修事業	重要港湾	留萌港	外港地区	南防波堤改良
			古丹浜地区	水深10m航路
	地方港湾	増毛港	本港地区	水深3.5m船溜物揚場 船溜波除防波堤
			羽幌港	本港地区
	天塩港	本港地区	西外防波堤 水深6m航路 導流堤改良	

水産基盤整備事業

留萌管内の第3種及び第4種漁港は、日本海有数の好漁場である武蔵堆の近傍に位置する水産物の生産・流通拠点であり、我が国水産業の競争力の強化に重要な役割を担っています。同漁港では、主に、道内外のイカ釣り漁業やエビ・筍漁業などの沿岸漁業のほか、道内外へ供給するホタテ種苗や韓国等で高い需要のある活ホタテガイを生産するホタテガイ養殖業が行われています。

このことを踏まえ、平成30年度は「国内水産物の衛生管理や安定供給のための基盤強化対策」及び「災害に強い漁業地域づくりのための漁港施設の防災・減災対策」を重点的に推進します。

苫前地区では、イカ釣り外来船の受入体制を強化するための岸壁及び護岸の整備、越波及び飛砂を防止するための護岸の整備を推進します。

遠別地区では、漁船の航行に必要な水深を確保するための泊地の整備、老朽化した船揚場を移設整備するとともに、作業の安全性を向上するための防波堤の整備を推進します。

北海道第3種及び第4種漁港地区では、漁港施設の長寿命化を図るために、遠別漁港の防波堤、苫前漁港の岸壁及び雄冬漁港の船揚場の補修を行います。



【苫前地区】イカ釣り外来船が集結する苫前漁港(平成29年9月)

水産基盤整備事業の概要

事業区分	地区名	事業の概要
特定漁港漁場整備事業	苫前地区 (第3種苫前漁港)	外郭施設:護岸、西外護岸(改良) 係留施設:水深3.5m岸壁
	遠別地区 (第4種遠別漁港)	外郭施設:南防波堤(改良) 水域施設:水深3.5m泊地 係留施設:船揚場
	北海道第3種及び 第4種漁港地区	【遠別漁港】 外郭施設:北防波堤(補修) 【苫前漁港】 係留施設:水深4.0m岸壁(補修) 【雄冬漁港】 係留施設:船揚場(補修)